

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等の対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積

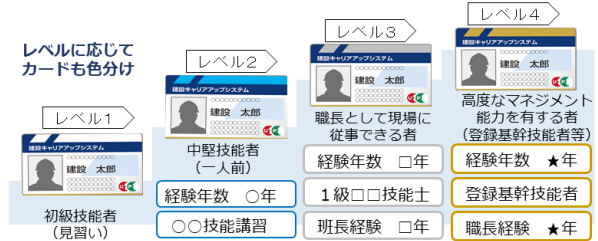
# 建設キャリアアップシステムの活用を促進し、将来の建設業の担い手を確保する（全国）

事業者：国土交通省不動産・建設経済局

## <建設キャリアアップシステムの概要>



## 建設技能者の能力評価



## <能力評価を反映した手当支給の例>

- **CCUSレベル別の優良技能者制度**（協会の対象）を実施。レベル2：500円、レベル3：1,000円、レベル4：2,000円（うち特に模範となる者：3,000円）/日
- **マイスター制度**（協会の対象）に**CCUSレベルを反映**。レベル3：10,000円、レベル4：15,000円/月
- **評価制度をCCUSのレベル基準へと転換**。レベル2以下：2,000円、レベル3：3,000円、レベル4：3,500円/日

（国土交通省調べ）

## <CCUSレベル別年収の概要>（全国、全職種）

レベル1 （下位～中位）	レベル2 （中位）	レベル3 （中位）	レベル4 （中位～上位）
3,740,000 ～ 5,010,000円	5,690,000円	6,280,000円	7,070,000 ～ 8,770,000円

※金額に法的拘束力はなく、支払いを義務付けるものではない。「上位は上位15%程度の賃金水準であり、最上位ではない。」

## 対策名：109 防災・減災、国土強靱化を担う建設業の担い手確保等に関する対策

主たる施策グループ： 6-2) 災害対応・復旧復興を支える人材等（専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等）の不足等により復興できなくなる事態



## 事業名：建設キャリアアップシステム活用の促進

- ポイント**
- 建設キャリアアップシステム（建設技能者の経験・技能を業界横断的に登録・蓄積可能）の普及・活用を促進
  - 経験・技能に応じて処遇される環境を整備し、建設業の担い手を確保

### 地域の概要・課題

建設業は社会資本整備の担い手であるとともに、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担うなど、「地域の守り手」として、防災・減災、国土強靱化を確実に推進するために重要な役割を担っています。

一方で、建設業は他産業を上回る高齢化が進展しており、将来の担い手確保が喫緊の課題です。

### 事業の概要

CCUSは、建設技能者の資格や就業履歴を業界横断的に登録・蓄積し、技能と経験の情報をもとに客観的、かつ段階的に評価することで、適切な処遇につなげていく仕組みです。一部元請企業においては、この評価に応じた独自の手当支給を実施しているところ。

CCUSの更なる普及・活用を図るため、公共工事発注者によるモデル工事の拡大や、登録申請サポートや、システム導入時の負担軽減のための取組を実施しています。

※CCUS：建設キャリアアップシステム  
（Construction Career Up System）

### 見込まれる効果

本取組により、CCUSに就業履歴・資格等を登録する建設技能者数が着実に増加することが見込まれます。

経験・技能に応じた賃金支払いの目標の共有のため令和5年6月に公表したCCUSレベル別年収等の取組と合わせて、建設技能者の経験・技能に応じた処遇改善を実現し、若い世代がキャリアパスの見通しをもて、技能者を雇用し育成する企業が伸びていける環境整備が見込まれます。

上記により建設業の担い手を確保することが、国土強靱化の確実な推進につながります。

### <CCUS登録技能者数の推移>

